

地域おこし協力隊のふくしま散歩!

みなさま、いかがお過ごしでしょうか？

5月10日（日）に開催された「第24回 北海道 女だけの相撲大会」は大盛況のうちに終わりました。

実は今年は、例年と違う様相を呈しておりました。と申しますのは、これまでは毎回定員割れをしていましたが、今回は100名近い応募がありました。嬉しい悲鳴です。何とかして応募者全員にご参加頂きたいのですが、運営上不可能ですので苦肉の策として今回のみ72名で開催されました。半数以上は初参加でした。結果は、おでぶ山さんが優勝されましたが、過去の大会に出場していた実力者が早い段階で敗退など波乱含みとなりました。毎年定員割れをしていたのが、急に応募が殺到となった要因は一体何だったのでしょうか。私はこう思います。広報の仕方だと。人とお話でもよくあることですが、「言う」と「伝える」のは違うのです。ただ漫然と話しても人に伝わらないこと、よくありますよね？ 広報の仕方一つで結果は大きく変化すると思います。何も難しいことはありません。それを今回、観光協会事務局内で考え、ポスターの掲示を効果的な場所へ変更するなど行った結果だと思います。来年は今年以上に盛り上がるよう、今から考えて行動したいと思います。

先日、道の駅にキャンピングカーに乗った方がいらっしゃいました。石川県からいらっしゃった山口英次さん（ご本人に掲載の許可は頂いております）という方です。定年後、キャンピングカーで全国を旅され、今回は桜前線を追って静内町や松前町へ行かれ、その帰りに福島町へ立ち寄られたそうです。この山口さん、各地のポスターを車の後部に貼り、PRをしながら旅をされているようで、福島町のポスターを差し上げ、PRしながら帰路につかれました。このようなことをされているので、全国の新聞やテレビの取材を沢山受けられているようです。

車やオートバイなどで日本全国を旅する方は大勢いらっしゃると思いますが、各地のポスターを車に貼ってPRしながら旅をされる方は聞いたことがありません。縁も所縁もない土地のポスターを貼るために車を自費で改造し、PRしながら旅をされるその姿に感銘を受けました。

このように、福島町へ実際に様々な人が来ているのです。問題はその方々をどうやって引きとめ、福島町の魅力を伝え、ファンになってもらうかだと思います。「福島町ってイイとこだよね」と言ってもらえると嬉しいですよ？ 今以上に福島町のファンを増やしましょう！ 今この町には沢山の素晴らしいものがあります。それを様々な工夫を凝らして変化させ、外から人が集まるような状況を築くべく頭をひねっております。その過程で住民の皆様のご意見やご協力をお願いします。その際は何卒ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。



地域おこし協力隊
川端 教文



▲決戦！おでぶ山 VS 田辺山



▲キャンピングカーで全国を旅されている石川県の山口さん